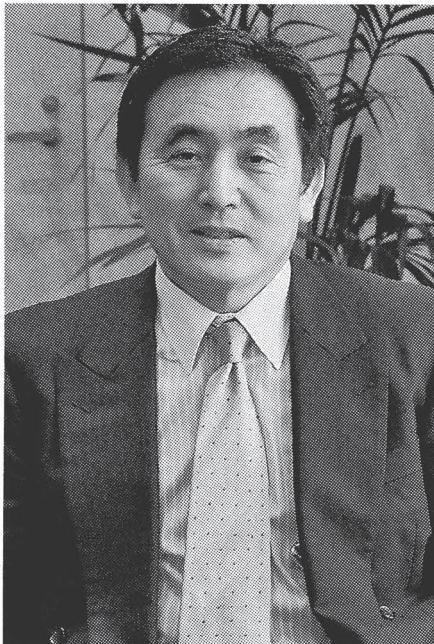


# 消毒ハンドジェル需要拡大

ピカソ美化学研究所社長語る

## 専用ラインフル稼働

新型コロナ対策品  
スプレーや口腔用品も



代表取締役社長

八木伸夫氏

### 抗シワ化粧品を拡充

——弊紙でも既報の通り

(3月15日号に詳報)、貴

社は新型コロナウイルス感

染拡大防止策として指定医

薬部外品の消毒用ハンドジ

エル製品をいち早く開発

し、地元の西宮市や兵庫県

でいた手指消毒用ジェルの

人製品評価技術基盤機構

などに寄贈した。

「当社では2月から消毒

生産を素早く開始した。当

社のジェルはアルコール64%、主剤殺菌剤が塩化ベンゼトニウムという処方で、塩化ベンゼトニウムはNIT-E(ナイト・独立行政法

人製品評価技術基盤機構)

——容器やアルコールが

供給不足との声もあるが貴社の状況は。

「消毒ジェルは現在国内工場(西宮、横浜)およびタイ工場に専用ラインを敷いて24時間フル稼働で生産を行っているが、当社では開発に着した2月の時点ですでに化粧品の需要が回復している。日本でもある程度感染拡大が落ち着き、通常の生活に戻れば、ネット通販はもちろんのこと店販も含め

て消費者の化粧品への購買意欲が早期に回復することを期待している。

——商品開発面での取り組みは。

「秋冬に向けて、抗シワ化粧品のラインナップを拡充している。ナイアシンアミド処方などの抗シワ化粧品だけでなく、美白化粧品も含めた医薬部外品の処方をすでに申請を済ませ形

でクライアントのニーズに付加価値のある製品を一つも社会にとって必要とされることは許さないが、当社として

——消毒ハンドジェル以外のコロナ対策品は。

「現時点で当社の化粧品の受注状況は横ばいといつたところだが、インバウン

ド需要がゼロになり、テレワークや外出自粛の影響で冬季に向けて消毒効果のある指定医薬部外品のハンドクリームや、医薬部外品のハンドソープなども生産している。また、秋冬に向けて

東京・銀座の東京オフィスにて本紙のインタビューに応じ、同社が現在フル稼働で生産している消毒用ハンドジェルや「アフター」「コロナ対策」としてすすめている商開発動向を中心に、今後の展望や取り組みなどを縦横に語った。(聞き手は小林本社社長)。

——化粧品の受注状況は。

「現時点で当社の化粧品の受注状況は横ばいといつたところだが、インバウン

ド需要がゼロになり、テレワークや外出自粛の影響で冬季に向けて消毒効果のある指定医薬部外品のハンドクリームや、医薬部外品のハンドソープなども生産して

いる。また、秋冬に向けて消毒効果のある指定医薬部外品のハンドクリームや、医薬部外品のハンドソープなども生産して

いる。また、秋冬に向けて消毒効果のある指定医薬部外品のハンドクリームや、医薬部外品のハンドソープなども生産して

いる。また、秋冬に向けて消毒効果のある指定医薬部外品のハンドクリームや、医薬部外品のハンドソープなども生産して